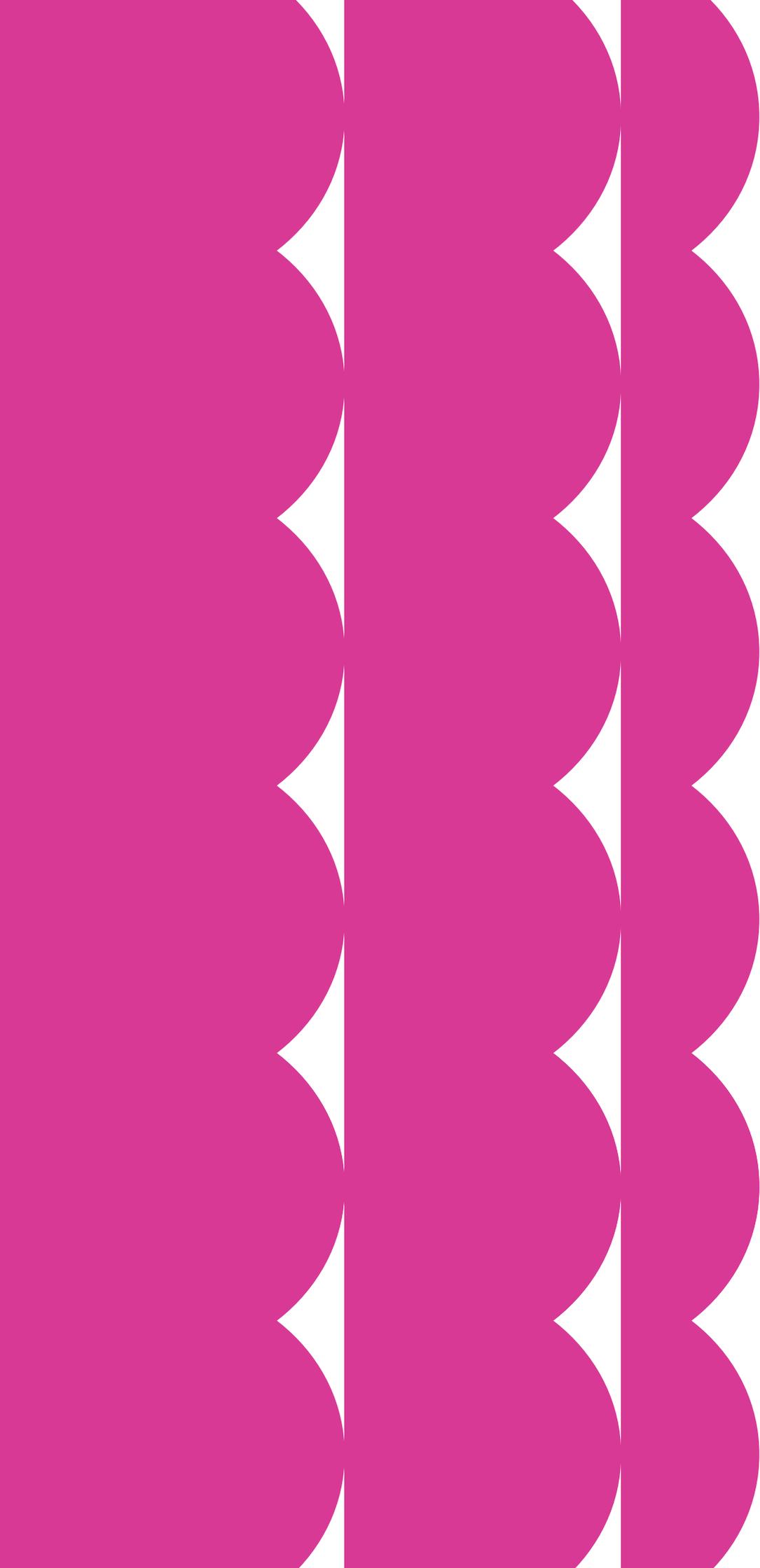


# アーツカウンシルさいたま

2023年度記録集





アーツカウンシルさいたまについて	2
主な事業内容	3
さいたま文化芸術都市創造助成金採択団体一覧	4

2023年度事業実施者紹介

<b>さいたま国際芸術祭2023市民プロジェクト公募プログラム事業実施者</b>	
toshi.tajima (PhotoArtist)、ノン (造形作家)、柿山満雄 (カメラマン)、陽だまり陽 sun (写真家)	6
hash out project/ はまたんべ (濱田凌)	6
大宮こども部	7
チームシャボン (小泉 文、hacha、古川 由徳、よこうち ともひろ)	7
窓 (名取萌音・笹尾麻衣)	8
坂根大悟	8
ハイドロブラスト (太田信吾・竹中香子・Maxime Laurent)	9
<b>さいたま国際芸術祭2023市民プロジェクト・キュレーター</b>	
浅見俊哉	10
飯島浩二	11
松永康	11

<b>さいたま文化芸術都市創造助成金「文化芸術を生かした地域活性化事業」採択団体</b>	
ギターやろうぜ! in さいたま実行委員会	12
好きです指扇! アートフェスタ実行委員会	12
ノーマライゼーション・アート・コミュニティ実行委員会	13
第12回人形のまち岩槻総合文化芸術祭実行委員会	13
さいたま夢 KANA 音楽祭実行員会	14
岩槻映画祭実行委員会	14
SAITAMA なんとか映画祭実行委員会	15
アーツさいたま・きたまち実行委員会	15

<b>公募プロデューサー事業「さいたまで表現を創る」選定プロデューサー</b>	
額田大志 (ヌトミック)	16
上ノ空はなび (to R mansion)	16

事業紹介

さいたま文化発信プロジェクト「MAP OMIYA 2023」「空想するさいたま」	17
調査研究事業 研究アソシエイト	18
さいたま国際芸術祭等により創出されたレガシー事業 市民サポーター事業	19
相談窓口事業	20

## アーツカウンシルさいたまについて



アーツカウンシルさいたま（以下ACSと呼ぶ）は、文化芸術を支援する専門組織として2022年にさいたま市に創設された。あらゆる人に文化芸術を創造・享受する機会を提供し、心豊かに生活できるまちを創出することを目指し、「暮らしの中で文化芸術と触れ合う機会の増加」「文化芸術の新たな創造環境の創出」「文化芸術を通じて、将来のさいたま市を考える」ことに取り組む。令和5年度はさいたま市内の文化芸術団体等への助成支援をはじめ、東京藝術大学と連携したさいたま市の魅力ある文化を発信する事業「空想するさいたま」、調査員を募集し文化芸術活動に関する研究を行う「研究アソシエイト」などを展開した。

### ビジョン

あらゆる人に、文化芸術を創造・享受する機会を提供し、心豊かに生活できるまちを創出する

### ミッション

市民が暮らしの中で文化芸術と触れ合う機会を増やします  
文化芸術の新たな創造環境を創出します  
文化芸術を通じて、将来のさいたま市を考えます

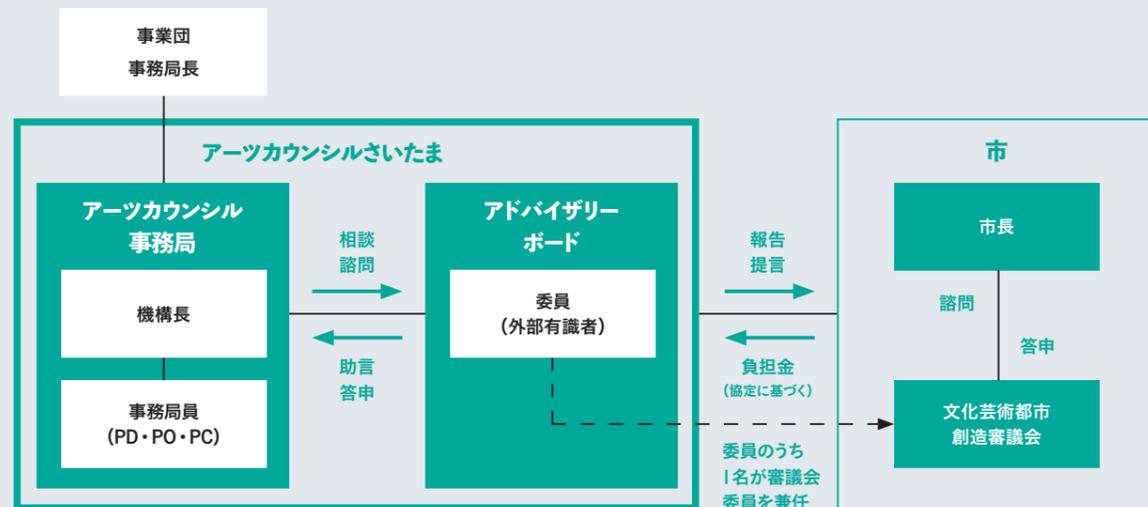
### 組織体制

#### 事務局

- ・（公財）さいたま市文化振興事業団に設置
- ・文化芸術に造詣が深い専門人材プログラムディレクターと、その補佐を行うプログラムオフィサーを配置。専門性を生かした幅広い支援を行う

#### アドバイザーボード

- ・運営等に関する評価・助言を行う有識者組織を設置
- ・文化芸術活動の支援に関する方向性やアーツカウンシルの取組内容のほか、市への政策提言等に対する助言を行っていく予定



## 主な事業内容

### 基本方針

アーツカウンシルさいたまは、ミッションを実現するため、「生活とアート」をつなぎ、市民等が文化芸術を創造、あるいは享受することができる、誰もが自由に参加できる文化的営みの総体（文化的コモンズ※）の創出を目指し、以下の事業を展開します。

### 文化芸術活動 支援事業

#### 文化芸術活動に対する助成事業

- ・さいたま文化芸術都市創造助成金「文化芸術都市創造事業」
- ・さいたま文化芸術都市創造助成金「文化芸術を生かした地域活性化事業」
- ・さいたま国際芸術祭2023公募プログラム

#### 生活と文化芸術活動の橋渡し事業

- ・相談窓口

### 文化芸術創造事業

#### 国際芸術祭等により創出されたレガシー事業

- ・市民サポーター事業
- ・公募プロデューサー事業「さいたまで表現を創る」
- ・さいたま国際芸術祭2023市民プロジェクト・キュレーター事業
- ・さいたま国際芸術祭2023報告展示会～「見逃す、芸術祭。」をつかまえる～

#### さいたま文化発信プロジェクト

- ・MAP OMIYA 2023
- ・空想するさいたま
- ・事業報告会

### 調査研究事業

#### 調査研究事業

- ・研究アソシエイト事業

※ コモンズ | 一定地域の住民の団体が、生産・生活に必要な物資を得ることを目的に総有又は共同利用する特定の山林原野等の共有地（入会地）のこと

さいたま文化芸術都市創造助成金「文化芸術都市創造事業」採択団体一覧(56団体)

団体名	事業名
ルナ・マンドリーノ	ルナ・マンドリーノ 第38回定期演奏会
大宮美術家協会	第34回大宮美術家協会展
さいたま市合唱浦和の会	春の合唱祭
(劇)レインボウ城!	市民コメディ こどもの日スペシャルボランティア公演
女声合唱団浦和アーベントコール	女声合唱団浦和アーベントコール 第4回定期演奏会
大宮器楽協会	第50回さいたま市民音楽祭おおみや「器楽フェスティバル」2023
大宮シンフォニーオーケストラ	大宮シンフォニーオーケストラ第18回定期演奏会
リーダークライス	リーダークライス20周年コンサート ー今、ふたたび羽ばたくー
おおみや市民吹奏楽団	おおみや市民吹奏楽団 ジョイントコンサート2023
さいたま市童謡おおみやの会	さいたま市童謡おおみやの会 30周年記念大会
女声あんさんぶるハミングバーズ	Let's Enjoy オペラコンサートVol.10
さいたま市中央区美術家協会	第21回 さいたま市中央区美術家協会展
大宮フィルハーモニー管弦楽団	大宮フィルハーモニー管弦楽団第45回定期演奏会
与野吹奏楽団	与野吹奏楽団第25回定期演奏会
オリパパとトランペットが吹き隊	第37回 DO! 素人吹き自慢大会
朗読グループ《声の会》	リーディングドラマ 眠れ マクベス
音楽を楽しむ会	～世界の海から音楽を～サマーコンサート
さいたま子どもミュージカル	さいたま子どもミュージカル 第5回記念公演「魔女バンパ」
音故知新	音故知新・夏のファミリーコンサート vol.1「おとボックス2023」
彩多会	第5回彩多会展示会
浦和新舞踊連盟	第47回浦和新舞踊連盟発表会
楽しい朗読クラブ	楽しい朗読クラブ 35周年記念朗読の会～ことばを慈しんで～
さいたま市三曲協会	第23回 三曲演奏会
女声合唱団きらり	女声合唱団きらり 15周年記念演奏会
さいたま市浦和吟剣詩舞道連盟	2023年さいたま市民文化祭 第54回近代吟詠と剣詩舞の会
さいたま市茶道会	さいたま市茶道会 秋のお茶会
趣味の会文化祭実行委員会	趣味の会文化祭(①全日本写真連盟浦和支部写真展、②七彩会作品展)
混声合唱団「レッツ・スィング」	混声合唱団「レッツ・スィング」創立20周年記念コンサート
セリーズの会	彩の国歌と音楽の祭典セリーズの会コンサート
子育て応援みに北会	第16回ベビーカーコンサート in 北区
Kohsetsu,24/7	Dance Suplex MASTABA
さいたま市音楽家協会	さいたま市音楽家協会第54回定期演奏会
吹奏楽団 THE NOISE	吹奏楽団 THE NOISE 第27回 演奏会
ヒアシンスハウスの会	第19回ヒアシンスハウス夢まつり
女声コーラス野ばら	100人の歌声コレクション#04「はじめましてシューベルトさん」

さいたま市浦和俳句連盟	二〇二三年度さいたま市浦和俳句連盟文化祭俳句大会
世界文化料理交流会	秋を楽しむコンサート2023
あんさんぶるぼぶり	女声合唱団あんさんぶるぼぶり 第二回定期演奏会
星の子合唱団	しあわせよ歌にのって ～星の子合唱団ミニコンサート～
さいたま和太鼓振興会	第30回記念 さいたま太鼓エキスパート2023
大宮箏曲協会	第52回箏曲演奏会
さいたま合唱協会おおみや	第51回さいたま市民音楽祭おおみや(合唱フェスティバル)
La.Musi～ca	La Musi～ca Presents Christmas concert
一般社団法人友音音楽協会	第4回彩の国ミュージックフェスティバル
浦和吹奏楽団	浦和吹奏楽団第9回POPS CONCERT
大宮吹奏楽団	大宮吹奏楽団 第34回定期演奏会
パドシャバレエサークル	Ballet concert
さいたま Jr. オーケストラ	さいたま Jr.と仲間たちコンサート
歌声の集い	みんなで楽しむコンサート
浦和混声合唱団	浦和混声合唱団 第33回演奏会
ソフィア	ソフィア第5回明るい街づくりコンサートショー
ダ・ヴィンチ音楽事務所	親子で楽しむホルンアンサンブル&ソプラノ音楽会 ～音楽で綴るさいたま歴史「見沼の大地」～
埼玉県いけばな連合会	第58回埼玉県いけばな連合会展
東大宮演劇祭実行委員会	第18回東大宮演劇祭
るふとぼうぜ	るふとぼうぜ～空気のおやすみⅢ～埼玉でクラシック音楽を
さいたまシティジュニアコーラス	さいたまシティジュニアコーラス 7th concert～歌声の響く街に～

さいたま文化芸術都市創造助成金「文化芸術を生かした地域活性化事業」採択団体一覧(8団体)

団体名	事業名
ギターやろうぜ! inさいたま実行委員会	ギターやろうぜ! inさいたま
好きです指扇! アートフェスタ実行委員会	好きです指扇! アートフェスタ
ノーマライゼーション・アート・コミュニティ実行委員会	ノーマライゼーション・アート・コミュニティ in おおみや
第12回人形のまち岩槻総合文化芸術祭実行委員会	第12回人形のまち岩槻総合文化芸術祭
さいたま夢 KANA 音楽祭実行委員会	さいたま夢 KANA 音楽祭 2023
岩槻映画祭実行委員会	第8回岩槻映画祭
SAITAMA なんとか映画祭実行委員会	第4回SAITAMA なんとか映画祭
アーツさいたま・きたまち実行委員会	アーツさいたま・きたまちフェスタ Vol.10

参加者が発見した見沼の良さを撮影し、写真を使った作品を制作する市民参加型のワークショップと、見沼の自然を中心とした作品を展示した「見沼の愛」展を開催した。

## 作品展「見沼の愛」&ワークショップ作品展示・写真ワークショップ「ふおっと見沼る？」

2023年  
10月11日(水)～11月11日(土)

のうち水～土

コンドウハウス

実施者 | toshi.tajima (PhotoArtist)、ノン (造形作家)、  
柿山満雄 (カメラマン)、陽だまり陽sun (写真家)



アートコミュニケーターが小・中学生、高校生を対象に、さいたま国際芸術祭2023メイン会場で対話型鑑賞ツアーを実施した。「アートへの入り口」となるよう芸術鑑賞への間口を広げることを目指した。

## アートへのはじめのいっぽ!行ってみよう! さいたま国際芸術祭!【子ども向けアート鑑賞会】

ディレクター目[mé]のレクチャー  
2023年10月15日(日)

ツアー実施  
10月29日(日)、11月12日(日)、11月26日(日)

さいたま国際芸術祭2023メイン会場  
実施者 | 大宮こども部



## しまった写真展(仮)

2023年  
10月28日(土)～11月26日(日)

大宮門街WEST | 1階、5階

実施者 | hash out project / はまたんべ (濱田凌)



## シャボン da さいたま ～レンズの向こうのわたしとワタシ～

2023年  
11月3日(金・祝)～12月10日(日)  
の金土日

STUDIO・45

実施者 | チームシャボン (小泉 文、hacha、古川 由徳、よこうち ともひろ)



スマートフォンなどで勝手に撮れて“しまった”写真を来場者がその場で印刷・自由に壁に貼り付けながら日々作品が増えていくインスタレーション展示を行った。集められた写真は、匿名性の高さで没個性であるが故に建築と写真におけるヴァナキュラーの双方の意を併せ持つ。それらを新しいヴァナキュラー写真と名付けた。

シャボン玉を自分に重ね、カメラで「わたし」が「ワタシ」(シャボン玉)を写し、来場者が撮影した作品を会場内に展示する参加型インスタレーションを展開した。シャボン玉をつくるワークショップも開催した。

低空エアリアルユニット「窓」による、身体表現と空中パフォーマンスを組み合わせた現代サーカス作品。音楽・ゲスト出演に古山詞穂を迎え、山丸公園に設置された「旅立ち」の像をテーマに、発車メロディや汽笛を想起させるオリジナル楽曲と共に上演した。

## In our homeland

2023年  
11月18日(土)、12月1日(金)

山丸公園  
実施者|窓(名取明音・笹尾麻衣)



## 和紙障子プロジェクト 「大宮曼荼羅」

2023年  
11月23日(木・祝)～11月26日(日)

盆栽四季の家  
実施者|坂根 大悟



投影光を裏側に透過しにくい和紙障子に映すプロジェクトの展示会を実施。表には、さいたま市内120の地名と伝説をイラスト映像化し、障子の枠一つひとつにそれぞれ異なる映像を投影、裏には作家が撮り歩いたさいたま市などをコラージュ映像として投影した。過去と現在という相反する要素を同一の障子枠内で表現することにより、特徴がないと言われがちな、さいたま市のアイデンティティを相反する時間軸から捉え直すことを試みた。

閉鎖・解体が決定した沼影市民プールを主なロケ地とし、『死の受容のプロセス』を提唱するキューブラー・ロスの著書を参照しながら、「再開発」をテーマとした映画を制作・上映した。また沼影市民プールの「記憶」を残すべく、ワークショップも開催した。

## さいたま市民らと創る映画『沼影市民プール』 in さいたま市 協働制作～公開プロジェクト

上映会  
2023年12月6日(水)

浦和コミュニティセンター 多目的ホール  
実施者|ハイドロプラスト(太田信吾・竹中香子・Maxime Laurent)



## さいたま国際芸術祭2023市民プロジェクト公募プログラムについて

さいたま国際芸術祭2023の「共につくる、参加する」のコンセプトのもと、市内で開催される文化芸術活動を公募した。61件の応募があり、審査の結果7件を選出。各事業の実現に向けた伴走支援を行った。

### 〔公募プログラム審査員〕

- |      |                           |
|------|---------------------------|
| 芹沢高志 | 審査員長/さいたま国際芸術祭2023プロデューサー |
| 大越久子 | 埼玉県立近代美術館学芸員              |
| 滝口明子 | うらわ美術館学芸員                 |
| 遠山昇司 | さいたま国際芸術祭2020ディレクター       |
| 久野敦子 | 公益財団法人セゾン文化財団常務理事         |
| 川田泰則 | さいたま国際芸術祭2023事務局長         |
| 森隆一郎 | アーツカウンシルさいたまプログラムディレクター   |

## さいたまアートセンタープロジェクト2023＊(SACP2023＊)

「さいたまアートセンタープロジェクト(SACP)」は、「あなたのライフスタイルにアートを。」を合言葉に、日常生活のなかで、誰でもアートに参加する習慣を生み出す「アートセンター」を創造するプロジェクト。「創造性」・「リアル」・「対話」のある場をキーワードに展示、レクチャー、ワークショップなど様々なジャンルのプログラムを展開。「氷川の杜ひろば(大宮図書館)」に設けた『SACP BASE』を拠点に、市内8カ所に「アートセンター」をつくり、芸術祭会期前を「よいまつり期」、芸術祭会期を「おすそわけ期」とし、50のプログラムを展開した。



キュレーター | 浅見俊哉

美術家・写真作家・造形ワークショップデザイナー。2004年頃から、「時間」と「記憶」をテーマにものを直接感光面に置き一定の太陽光で撮る写真(フォトグラム)を制作。2009年にSMF(サイタマミュージアムフォーラム)のメンバーとなり、「さいたまトリエンナーレ2016」で「SMF学校」を展開。「さいたま国際芸術祭2020」では市民プロジェクトコーディネーターを務め「さいたまアートセンタープロジェクト(SACP)」を実施。2021年～2022年は「さいたま国際芸術祭レガシー事業」でSACPを継続、「さいたま国際芸術祭2023」では市民プロジェクト・キュレーターとしてSACPを展開した。

美術家・写真作家・造形ワークショップデザイナー。2004年頃から、「時間」と「記憶」をテーマにものを直接感光面に置き一定の太陽光で撮る写真(フォトグラム)を制作。2009年にSMF(サイタマミュージアムフォーラム)のメンバーとなり、「さいたまトリエンナーレ2016」で「SMF学校」を展開。「さいたま国際芸術祭2020」では市民プロジェクトコーディネーターを務め「さいたまアートセンタープロジェクト(SACP)」を実施。2021年～2022年は「さいたま国際芸術祭レガシー事業」でSACPを継続、「さいたま国際芸術祭2023」では市民プロジェクト・キュレーターとしてSACPを展開した。

## アートさいたま・きたまち

さいたま市に点在する「盆栽」「漫画」「人形」「鉄道」をテーマにした施設をアートでつなぐプロジェクト。アーティストの角文平、市川平がさいたま市大宮盆栽美術館、さいたま市立漫画会館、さいたま市岩槻人形博物館、鉄道博物館で新作を発表し、施設間の「道(コース)」も複数の作家たちが手掛ける自転車や車によってアート化した。イメージは、いくつもの星を渡り歩き、さまざまな出会いを経験していく『星の王子さま』。来場者をさいたまの“文化の星”をめぐるアートの旅へ誘った。



キュレーター | 飯島浩二

武蔵野美術大学卒業と同時に作家活動始める。5年のアメリカ滞在を経て、2011年に帰国。大宮にてNPO法人コンテンポラリーアートジャパンの理事として「CAJ. Artist in Residence」「アートさいたま・きたまちフェスタ」を手掛ける。

## 創発 in さいたま

「創発 in さいたま」は、さいたま市内で活動する画廊や美術家に声をかけ、ふだんバラバラに行われている展示会が一堂に会するというもの。2008年、都内で展示会を行う埼玉県内の美術家たちに声をかけ、県内で一斉に行ったプロジェクトがその原点にある。その後、「美術と街巡り・浦和」(2016～)、「美術と街巡り事業」(2020)の継続を経て、今回のプログラムが実現した。「創発 in さいたま」では市内14カ所の画廊や公共施設等で展示会が行われた。



キュレーター | 松永康

アート・コーディネーター。武蔵野美術大学卒業後、埼玉県立近代美術館学芸員、国際芸術センター青森総括主任学芸員、横浜美術短期大学(現・横浜美術大学)非常勤講師を経て、現在、NPO法人コンテンポラリーアートジャパン理事、武蔵野美術大学非常勤講師。

さいたま市の子どもたちに、もっと音楽を楽しんで欲しい、ギターを通じて音楽仲間の輪が広がればいいなという願い、本物の音楽に触れてほしいという想いで企画したイベント。ギターを経験したことのない子どもたちに、プロの演奏を楽しんでもらった。また簡単なメロディが弾けるようなミニレッスンも開講し、楽器に親んでもらう機会を設けた。

## ギターやろうぜ! inさいたま

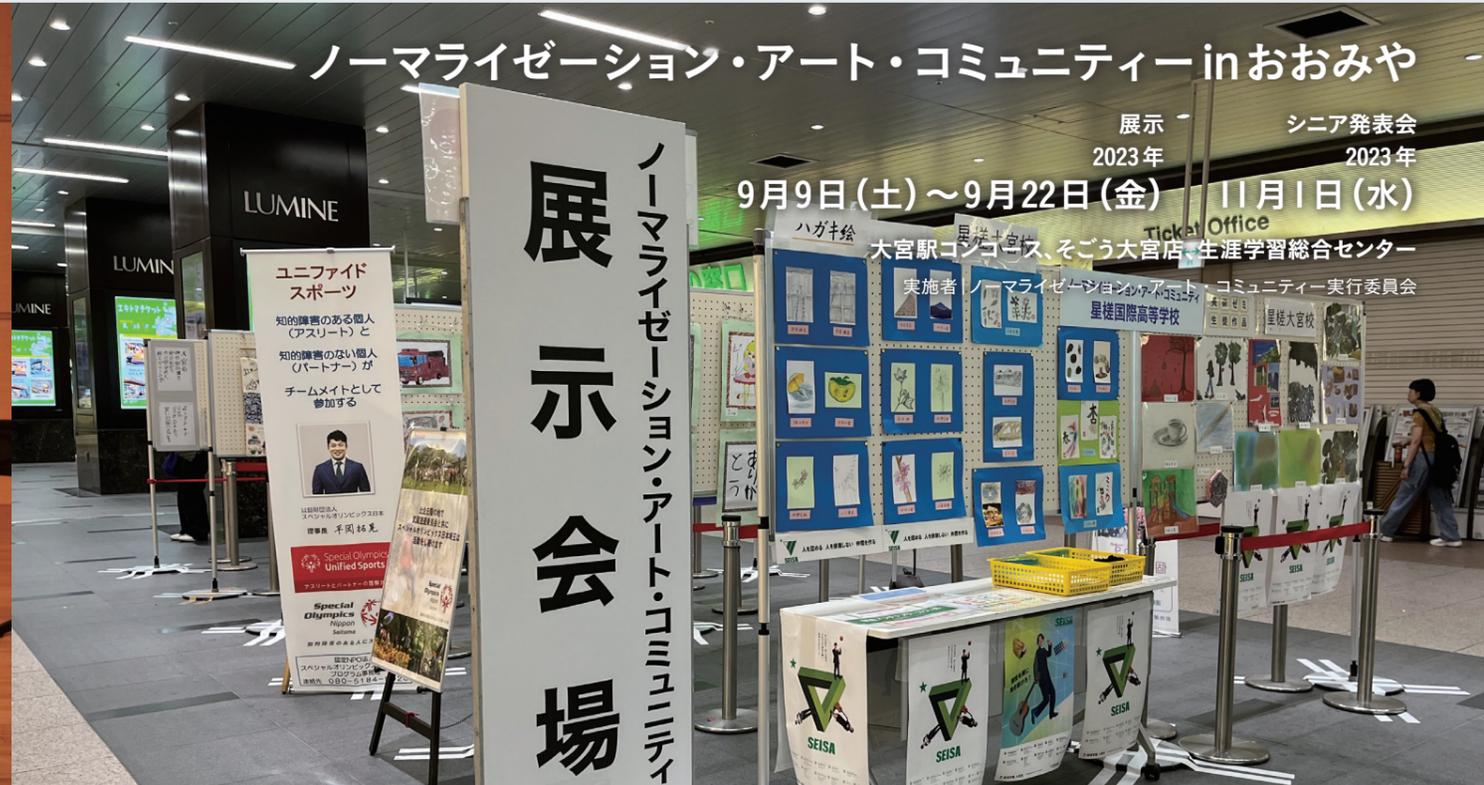
2023年  
7月29日(土)  
武蔵浦和コミュニティセンター 多目的ホール  
実施者|ギターやろうぜ! inさいたま実行委員会



アートを通じて大宮地域で活動する子どもや、障害をもつ人の日頃の活動の成果を発表と、地域資源を掘り起こすための展示を行った。障害をもつ人の作品展示をはじめ、幼稚園や保育園の園児の作品展示を行う「大宮子どもトリエンナーレ作品展示」、まちのシニアたちに光をあてた「シニア発表会」などを開催した。

## ノーマライゼーション・アート・コミュニティ in おおみや

展示 2023年 9月9日(土)～9月22日(金)  
シニア発表会 2023年 11月1日(水)  
大宮駅コンコース、そごう大宮店・生涯学習総合センター  
実施者|ノーマライゼーション・アート・コミュニティ実行委員会



## 好きです指扇! アートフェスタ

2023年  
8月19日(土)  
指扇中学校体育館、滝沼川第2遊水地、指扇公民館  
実施者|好きです指扇! アートフェスタ実行委員会



## 第12回人形のまち岩槻総合文化芸術祭

2023年  
9月30日(土)～10月9日(月・祝)  
岩槻駅前クレセントモール、岩槻駅前ワッツ西館5階、  
本丸公民館視聴覚ホール、  
岩槻駅前ワッツ東館3階廊下展示コーナー、  
目白大学岩槻キャンパス、地域商店街民間施設  
実施者|第12回人形のまち岩槻総合文化芸術祭実行委員会



地域の小中高校部活による演奏や演舞のほか、会場ではクラフトワークショップやバルーンショーを実施した。9回目を迎える今回は、4年ぶりの通常開催となり、予想していたより多くの来場者があり活気のある催しになった。

市民の総合的な文化芸術の活動発表の場として、地域の子どもや学生から高齢者までの多世代が参加して交流を図り、地域の文化芸術を生かして地域の賑わいを創出し、地域に内在する魅力の情報発信を目的にして開催した。市民参加の委員会でやりたいイベントの提案を受け、提案者が責任者となってそのイベントを実行する方式をとっている。

「夢叶うまち・さいたま」のイメージ浸透と地元の音楽家の支援を目的に2006年より毎年秋に開催している音楽コンテスト。バンドコンテスト「The 登竜門」と、さいたま市歌「希望のまち」を課題曲にライブパフォーマンスコンテストを行う「夢 KANA オーディション」の2本立てで実施した。

## さいたま夢 KANA 音楽祭 2023

2023年  
11月19日(日)

RaiBoC Hall 大ホール

実施者 | さいたま夢 KANA 音楽祭実行委員会



## 第8回岩槻映画祭

2024年  
2月10日(土)、11日(日)

さいたま市民会館いわつき ホール

実施者 | 岩槻映画祭実行委員会

# 第8回 岩槻映画祭

SAITAMA CITY AWARDS 2024



歴史ある岩槻の地で開催される岩槻映画祭は、短編映画の全国コンペティションを中心に、地域で制作された映像作品の上映などを行う映画祭。毎年、短編コンペティション入選作品の上映、監督や出演者による舞台あいさつ、招待作品や特別上演作品も公開される。今回は過去最多の203作品の応募があり、その中から審査委員会の厳正なる審査を経た入選8作品を上映。授賞式ではグランプリをはじめ入賞5作品が発表された。

映画と食をテーマにした地域活性・住民参加型総合イベントを継続的に行うことを目標に、地元住民らが中心となって立ち上げた映画祭。そして第4回となる今回は、「地域に根ざす」という意味も込めメイン会場を固定、そして短編のみだったコンペティションの要件を拡大し、制作者にはより多くの機会を、観客にはこれまで以上にバラエティに富んだ作品に触れる機会を創出した。

SAITAMA NANTOKA  
FILM FESTIVAL 2024  
第4回SAITAMAなんとか映画祭

2024年  
3月2日(土)、3月3日(日)

30分以内の部コンペティション RaiBoC Hall 小ホール、  
大宮門街1階 門街広場、M's SQUARE

実施者 | SAITAMAなんとか映画祭実行委員会



## アーツさいたま・きたまちフェスタ Vol.10

2024年  
3月22日(金)～3月24日(日)

プラザノース ノースギャラリー1～7、  
ステラタウン2Fスペース及び屋外大階段下、  
大宮北ハウジングステージ 等

実施者 | アーツさいたま・きたまち実行委員会



アーツさいたま・きたまちフェスタは2014年度より、さいたま北区きたまちエリアにおいて、賑わいの創出と創造力の活性を促すアートフェスティバルとして開催し、10回記念展となる今回は、機械仕掛けで光る、音が出る、動くアート作品を多く展示し、老若男女に親しみやすいアートフェスタとして開催した。

『しらふの地先へ』は野外劇とドライブツアーの2つのプログラムによる公演。2024年3月に東京都・海の森水上競技場とその周辺で発表した。他所での上演という将来的な展開を見据え、さいたまでの滞在制作と野外劇のワークインプログレス公演を実施した。さいたま市民会館いわつきを会場に、客席で演劇を見る体験とは異なり、自ら作品へと参加するツアー型の演劇として上演した。

## ヌトミック × 2.5 architects 共同制作 『しらふの地先へ』ワークインプログレス公演

①滞在日程 2024年  
2月15日(木)～24日(土)

space845、  
NPO法人アート応援隊 岩槻校舎

②公演日程 2024年  
2月23日(金・祝)

さいたま市民会館いわつき  
実施者 | 額田大志(ヌトミック)

Photo by Fumika Morito

## ニューサーカス『ボンジュールさいたま』

①滞在日程 2024年  
2月26日(月)～3月11日(月) ②公演日程 2024年  
3月9日(土)、10日(日)

space845、NPO法人アート応援隊 岩槻校舎 大宮門街1階 門街広場  
実施者 | 上ノ空はなび(to R mansion)

Photo by Hama Show

世界で活躍するアーティスト達が、街中に飛び出した！さいたま市の美しい風景とともに生まれる新たなサーカスショーを制作、公演した。また滞在期間中には、滞在所近隣の幼稚園と連携し、サーカスをベースとした表現ワークショップも開催した。

## さいたま文化発信プロジェクト

今年度、さいたま市の文化を発信するため、2つの事業を行った。ひとつは「さいたま国際芸術祭2023」の会期に、来場者のまちへの回遊をねらい作成・配布した「MAP OMIYA 2023」。もうひとつは東京藝術大学キュレーション教育研究センターと連携のもと“盆栽・漫画・人形・鉄道”をテーマにデジタル作品制作/キュレーションのワークショップを行い、それぞれのプラン発表を行う「空想するさいたま」である。

### 「MAP OMIYA 2023」

「MAP OMIYA 2023」は、単なるグルメやお土産品、歴史スポットの紹介に主眼を置くのではなく、“語り部になれる人”に着目し、その人がどのようなこだわりや思いを持って大宮のまちで商売や活動をしているのか、丁寧な取材に基づいて紹介している。取材先は、市民サポーターや「アート資源調査」による情報、大宮のまちのキーパーソンからアドバイスを得るなどして選定。さいたま市をよく知らない市外の人はもとより市民にとっても、大宮のまちの個性に関心を持ってまち歩きをしてみたいというマップを目指した。マップ紙面に載せきれない取材情報を伝えるため、オンラインコンテンツを用意した。



オンラインコンテンツはこちら

### 「空想するさいたま」

「空想するさいたま」は、さいたま文化のデジタル空間における展開を試みる事業で、全5回の講座とツアー、講評会、プラン発表会と選考会で構成した。ACSとしては、さいたまの新たなイメージを模索しつつ発信していくことを意図し、“デジタルさいたま”を空想するような事業を考えた。講座では、デジタル作品の制作やキュレーションに関する概論、鉄道博物館、さいたま市立漫画会館、さいたま市大宮盆栽美術館を巡る大宮ツアー、さいたま市岩槻人形博物館や近隣の人形店、工房などを訪ねる岩槻ツアーを行った。立ち寄り先ではそれぞれの学芸員や店主・職人などから話を伺い、参加者からは多角的に、またより深く地域を知るきっかけとなったという意見も聞こえてきた。その後、プラン中間発表と講評会を経て、各自プランを提出。3月10日に一般公開で最終選考会を行い、作品プラン/キュレーションプランを各2つ採択した。

## 調査研究事業 研究アソシエイト

「研究アソシエイト」は、市民が自ら研究員となり市内外の芸術文化状況などを調査・研究する事業である。市民自らの視点で地域の芸術文化を考えることを想定して企画した。活動内容は、月に一度の研究会と不定期の公開研究会を軸に、ACSプログラムディレクターやプログラムオフィサーとともに、意見や情報を交換しつつそれぞれのテーマを深め年度末にレポートを発表するというもの。2024年1月から活動が始まり、2月には公開研究会を実施、3月には研究会を経て研究テーマの設定を行った。来年度以降も月に一回の研究会を継続し、うち数回はゲストを招いた公開研究会とする予定。今年度は2月に文化政策研究者の吉本光宏氏（文化commons研究所・研究統括）

にお越しいただき“市民が主導するアートプロジェクト”や“地域課題と向き合う文化拠点”について国内外の様々な事例や考察を伺った。後半には、講師、プログラムディレクター、プログラムオフィサーと研究アソシエイトでの意見交換を行い、さらに会場で参加した方々も交えた議論を行った。今後は、ACSとしてさいたま市の文化政策への提言なども予定しており、アソシエイトによる研究成果もこの提言の基礎資料として活用していく。



## 国際芸術祭等により 創出されたレガシー事業 市民サポーター事業

さいたま国際芸術祭の開催を契機として、主体的に芸術祭に参加し相互に交流する市民サポーターのコミュニティが形成されている。そのコミュニティは、芸術祭会期中に限らず日常的かつ継続的に、地域におけるアートや文化をキーワードとした様々な情報交流や活動の連携を生み出している。また、市民サポーターの中には芸術祭の公募プログラムを企画・実施したり、ギャラリーカフェを開いて芸術祭の会場の一つとなるような実践に踏み出したりした人もいる。

ACSでは2022年10月の創立当初から市民サポーター活動を支援しているが、それは市民サポーターのコミュニティが芸術祭開催によって生み出されたレガシーのひとつに位置づけられているからである。

今年度は、毎月定例のサポーターミーティングの企画と開催、さいたま国際芸術祭2023におけるサポーター活動の多面的なマッチングやサポーターの発意に基づく自主活動の支援などとともに、市民サポーターによる「アート資源調査」を実施した。



2021年度から取り組んでいる「アート資源調査」は、サポーター自らが市民の身近な文化拠点となっているアート系のギャラリーやカフェ等を訪問し、キーパーソンにヒアリングをしてレポートをまとめる市民が行う調査だ。まとめたレポートを公開し、より多くの市民にそのような場の存在と価値の見える化を進めるとともに、アート資源相互のつながりと連携を深めネットワーク形成を図ることを目的としている。2021年度は22箇所、2022年度は10箇所を対象に訪問調査を実施してレポートをまとめている。今年度は、さいたま国際芸術祭2023の市民プロジェクト会場になった施設など、新たに5箇所の調査を実施した。



## 相談窓口事業

市内の文化芸術を軸とした活動を行う団体や個人をサポートする無料相談窓口を開設している。活動や助成事業に関する相談のほか、市内の文化資源にかかわる情報提供やマッチングなどを行う。メールやウェブサイトの相談申込フォーム等からの問い合わせに対応するほか、希望者にはプログラムディレクターとプログラムオフィサーが相談員となり、対面相談を行っている。

### 2023年度実績 (3/5現在)

相談件数 全 **46** 件  
(メール対応含む)

内訳

活動	<b>8</b> 件
助成	<b>23</b> 件
情報提供	<b>12</b> 件
その他	<b>3</b> 件

#### 相談例①

さいたま市に引っ越してきた。市内で制作活動や発表ができる場所を知りたい。

#### 相談員からの回答

相談者の活動状況や活動目標を聞き取り。それをもとに、アート資源調査でリサーチした市内の施設をいくつか提案した。

#### 相談例②

個人で文化に関する活動をしている。ネットワークを広げていき、ゆくゆくは大きなイベントを実施したい。

#### 相談員からの回答

相談者の近隣地域で活動している他の団体や、イベントなどを紹介。活動に伴走して、今後も相談や情報交換を続けていくことを提案した。



### アーツカウンシルさいたま 2023年度記録集

発行日 | 2024年3月30日

発行者 | アーツカウンシルさいたま

印刷 | 関東図書株式会社

デザイン | 直井薫子 (CHICACU Design Office & Bookstore)

### お問い合わせ

アーツカウンシルさいたま

(公益財団法人さいたま市文化振興事業団)

〒336-0024 埼玉県さいたま市南区根岸1-7-1

さいたま市文化センター4階

TEL | 048-767-5350

営業時間 | 火~土 9:00-17:00 (日・月・祝日休み)

※月曜日が祝日の場合、火曜日も休み

メールアドレス | [artscouncil@saitama-culture.jp](mailto:artscouncil@saitama-culture.jp)



公式ウェブサイト



公式X (旧Twitter)



ARTS COUNCIL  
**SAITAMA**